

公開シンポジウム



Dialogue

社会で築くゲノム科学の未来

—ゲノム研究のガバナンスの構築にむけて—

近年、生き物が持つ全ての遺伝情報を解読しその働きを解明するゲノム科学が目覚ましい発展を遂げています。特にヒトを扱う場合は、社会に及ぼす影響も大きくなります。本シンポジウムでは最先端のゲノム科学を紹介し、ゲノム科学が社会の中で営まれる仕組み「研究ガバナンス」について様々な専門家と議論を行います。



Management

2011年2月10日(木) 10:00-16:30

東京国際フォーラム ホールD7

東京都千代田区丸の内3丁目5-1 (JR/地下鉄有楽町駅より徒歩1分)

参加費無料・要事前申込(定員200名)

お問い合わせ・お申し込み先: ゲノムELSIユニット

E-mail: genome_elsi@zinbun.kyoto-u.ac.jp

TEL/FAX: 075-753-6947

URL: <http://elsi.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>

参加をご希望の方は、氏名(ふりがな)、所属、E-mail、FAX番号(FAXでお申し込みをされた方のみ)を明記のうえ、件名を「公開シンポジウム申込み」として上記E-mailまたはFAXにてお申し込みください。

プログラム

午前の部

講演1「パーソナルゲノム時代の疾患解明」

辻省次(東京大学医学部附属病院・神経内科)

講演2「FANTOM国際コンソーシアムとRNA研究」

河合純(理化学研究所・オミックス基盤研究領域)

午後の部

講演3「パーソナルゲノム時代の研究倫理」

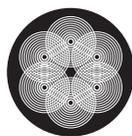
武藤香織(東京大学医科学研究所・公共政策研究分野)

講演4「米国の遺伝子情報差別禁止法(GINA)について」

丸山英二(神戸大学大学院法学研究科)

パネルディスカッション 辻省次、河合純、武藤香織、丸山英二、

小林傳司(大阪大学CSCD) / 司会: 加藤和人(京都大学人文科学研究所)



Integrity

ゲノム
ELSI
ユニット

